

## 26 ペタンク



場所	人数	対象年齢	運動強度
屋外	3人対3人以内	誰でも可	軽度

### 特色

ペタンクは道具を使って行うスポーツの中でも比較的簡単で、しかもゲーム性を失うことなく、どこでも、誰でもできるスポーツです。ルールは簡単ですが、ゲームの読みには経験を必要とします。実力的に開きがあっても、作戦ミスやゲームの流れで思わぬ不覚を取ることもあります。また地面のコンディションやゲームの展開などにより、投球方法を変える必要があり技術的な奥行きもあります。

### 用具

ボール 金属製(鋼鉄やステンレス)  
直径 7.05 ~ 8cm、重さ 650 ~ 800g

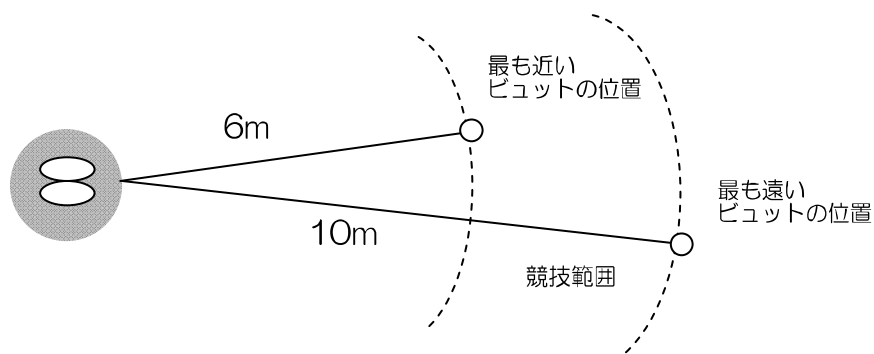
ビュット 標的球のことをいう。木製、  
直径 25mm ~ 35mm、重さは規定なし。

メジャー 2m程度のものがよい。



### コート

- (1) 幅 4m × 長さ 15m以上あればよい。
- (2) 投球サークルは、直径 35cm ~ 50cm。
- (3) バウンドしにくい地面が適する。(砂利地や砂浜でも、又グラウンドでもでき、各々趣があって面白い)



## 競技方法

(1) 3人対3人(トリプルス)で行い、各プレイヤーの持ちボールは2個とする。2人対2人(ダブルス)、1人対1人(シングルス)で行うこともできる。

### (2) ゲームの進め方

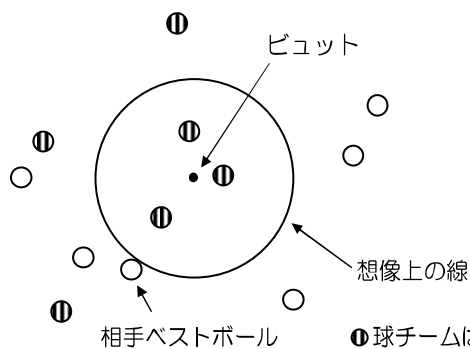
競技はどちらかのチームが、13点を先取するまで勝敗を競います。

- 1 全員コートに集合し、ジャンケン等でピュットを投げる権利を決める。
- 2 先攻チームの1人がスタート地点を定めて投球サークルを描き、この中からピュットを投げる。ピュットはサークルから6m～10mの間に止める。(図1)
- 3 先攻チームの第一投者が、ピュットの近くに寄るようボールを投げる。
- 4 相手チームは先攻チームより一層近く寄るように投球する。
- 5 次に、ピュットよりボールが遠くなったチームが投球する。これを繰り返し、全投球した時点で最もピュットに近いボールのチームが勝ちとなる。
- 6 一方のチームが6球投げ終わっても、勝ったチームに残球があれば、更に得点を稼ぐために全球投げる。これで第1セット終了。
- 7 投球により、ボールを動かしたり、ピュットを動かすことにより得点することもできる。
- 8 このセットで勝ったチームが、次の第2セットで投球サークルを描き、ピュットを転がし、ゲームを進めていく。セットは、何回も繰り返して13点先取したチームが勝ちとなる。(投球サークルはセットごとに画く)
- 9 ポイントの測定は、最後にボールを投げたプレイヤー、または同チームの他のプレイヤーが行う。

### (3) 得点の数え方

得点は、両チームのピュットから最も近いボール(ベストボール)の確認から始める。相手チームのベストボールより味方チームのボールがいくつ近いか、その数が得点になる。得点はいつも片方にしかなく、一方はゼロになる。

<得点計算>(例)



(4) ボールを投げるときは、サークルの線を踏んだり、ボールが地上に落ちる前に足を上げたりしてはいけない。

(5) ボールを投げる順番は自由である。(連続して投げてよい。)